ひと

Asahi Shimbun 2012/01/19

同性婚を公表する大阪・神戸アメリカ総領事

パトリック・J・リネハン（Patrick Linehan）さん(58)

総領事館のホームページで同性婚を公表している。

日系ブラジル3世のエマーソン・カネグスケさん(39)＝右＝をハズバンドと呼ぶ。昨年9月の赴任時、日本政府は彼に「外交官の配偶者」としてビザを出した。

「夫」は歴代総領事夫人が務める名誉職に就き、夫人同伴を請う招待状の多くも彼の名になった。

「最初は戸惑う人でもすぐに受け入れてくれる」と日本社会の過ごしやすさを語る。一方で米国ほどに権利保障されていない日本の同性愛者からは「あなた方の存在が励みになる」とエールが届く。

公務員となった1984年当時は、ゲイを公言すれば職場を追われたという。その4年後に初来日した時は明かせなかったが、クリントン政権下の95年ごろから政府内でも権利が認められ始めた。

在東京大使館勤務の02年に六本木でカネグスケさんと出会い、「一目ぼれ」。同性婚を認めるカナダ赴任時の07年に結婚した。

オバマ政権になり、政府内で同性愛者の権利向上が進んだ。前任地ソウルからの転任旅費は夫の分も初めて出た。それでも健康保険、年金、税などで差別が残る。

歴史や文化の集積する関西の勤務にあこがれていた。そこで「完璧なパートナー」と暮らす幸せ。「自分らしく、隠さずに生きる。それが、ひいては人権全般の向上につながる」と信じる。

文・柴田直治　写真・矢木隆晴